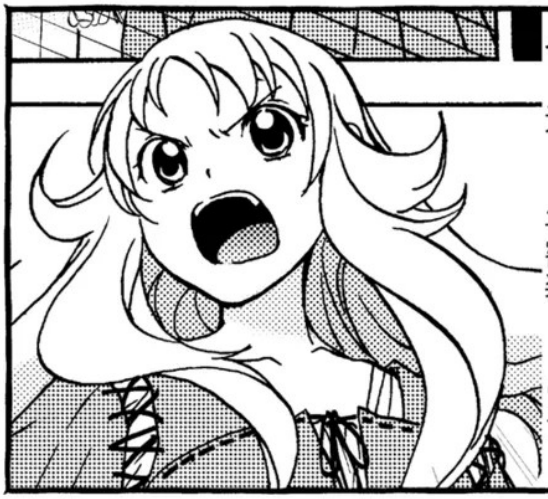

TOKO-YA
ORIGINAL
KITO EN&HEIZO
床子屋
Saint Foire
Festival/eve
4 Evelyn
セントフォワール
フェスティヴァル/イヴ
イヴリン4
R18
Contents include


SaintFoire
Festival/eve
4
セントフォワール
フェスティヴァル/イヴ
イヴリン4
Evelyn

登場人物紹介



イヴリン・ハーカー

元商家、爵位を金で買った新興貴族の末娘。
貴族になったはいいものの家計は火の車。
持参金が用意できない上に本人の男嫌いも相まって、年頃になっても結婚する気はなかったが、幼なじみであり密かに思いを寄せ続けている初恋相手のバートラムに偽装結婚を持ち掛けられ、断るも無理やり手籠めにされる。
なんやかんやでずるずると体の関係が続いている。
更にバートラムを逆恨みするノルマン人貴族のルシアン(男の娘)からも求婚されるしで、私これからどうなっちゃうの～?!なイングランド人娘。
趣味は狩りと熊いじめ観戦。



バートラム・アクィナス

ぐうたら金細工師。色々あって生家を出、乳母の屋敷に転がり込んでいる。同性愛者で愛人多数。
当時としては珍しい自由恋愛主義者。
父親から修道院に入れと命令されており、女と結婚する事で逃れようと考えている。
自分が同性愛者である事を知っている男嫌いのイヴリンを偽装結婚の相手として選ぶが…。
顔は良いが性格と根性が悪い。

『SFF/eveオルウェン』編のオルウェンと
『SFF/リチルディス』編のゴーウェン2人の実の兄。



ルシアン・ド・ブランシャール

ノルマン(フランス)人貴族の末息子。女装癖がある。
金はあるが期待も責任もない自由な身分なので、毎日を好きに過ごしていたが、兄がバートラムの愛人のひとりと分かった事で人生が一変する。
世俗社会では息子達の魂が破滅すると恐れた父親から修道院に入るか、嫌なら女と結婚するように命令され、その原因であるバートラムに恨みを抱くようになった。
顔は良いが性格と根性が悪い。

世界でいちばん自分が大好き。
想い人は『ルシエンヌ』嬢(女装したルシアン本人)。

舞台は12世紀イングランド。
男嫌いの貴族令嬢イヴリンに求婚したのは
彼女の悲惨な失恋の相手であり、男嫌いの原因でもあるバートラムだった。
憎からず思い続ける相手からの求婚とはいえ、
同性愛者であるバートラムがイヴリンに恋愛感情を抱く事はないだろう。
バートラムからの求婚を断り続けるイヴリンだが、
そんな中、バートラムに恨みを抱くもう一人の求婚者・ルシアンが
ハーカー家に転がり込む事になる。

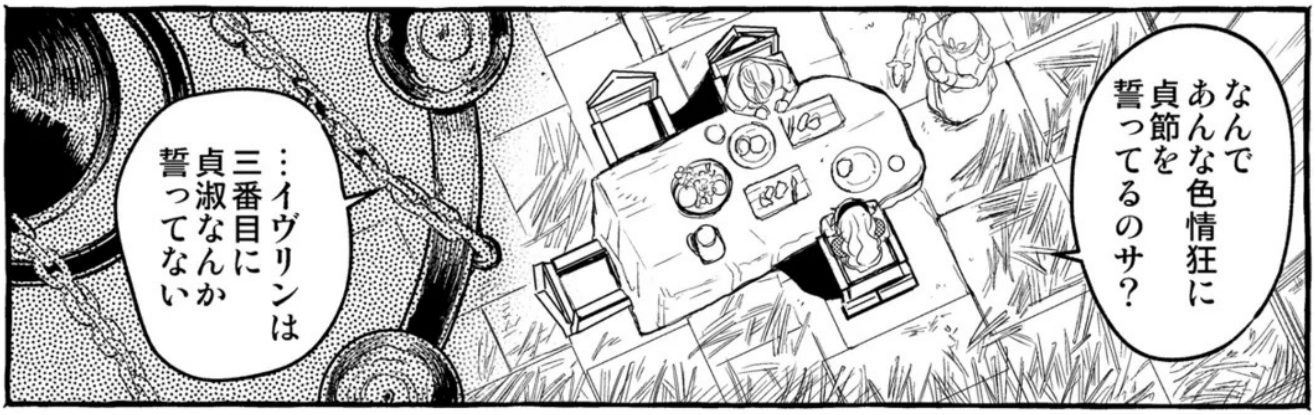

ばぁ
ルシアン・ド・ブランシャールはいるか!!
まあまあイヴリンお嬢様突然どうされたんです?
ブランシャール家の客人はどこだ!
屋敷中捜したがどこにもいない!
ガガガガ
隠せば舌を切り落とすぞ!
おでかけになられたのでは……
馬なしでか!?
奴の馬は厩舎にいた!
この屋敷でまだ捜してないところと言えば——

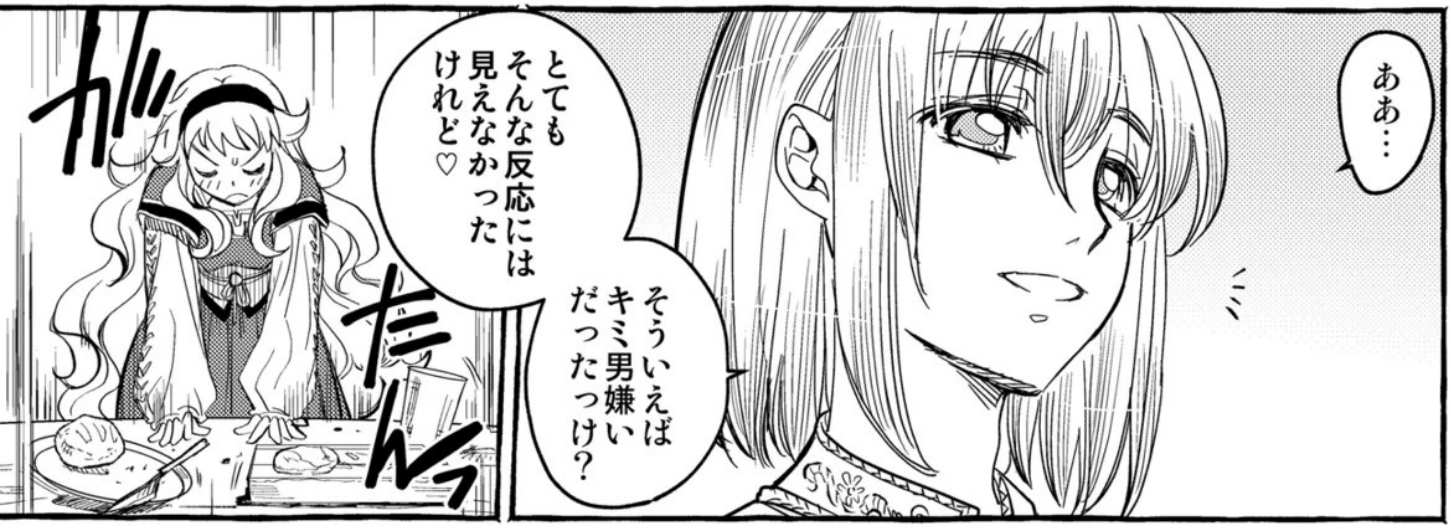

あ…
あ…♡
いけません
ルシアン様…
ルシアン・ド・
ブラン
シャール…
うちの屋敷で
よくもあんな…
ずか
ずか
震えてるの？
かわいいね…
あん…♡
ルシアン・
ド・ブラン
シャール！
村の娘達が
お前に会いに
押しかけてるぞ!!
あれは
いったい——


あ
レディ・イヴリン…♡
は〜い
ごめんね 今日はご覧の通り 予定でいっぱいなんだ
よろろっ…
君とのレッスンは明日でいいかな？
ガタッ
イヴリンの部屋で何してる――ッ!!

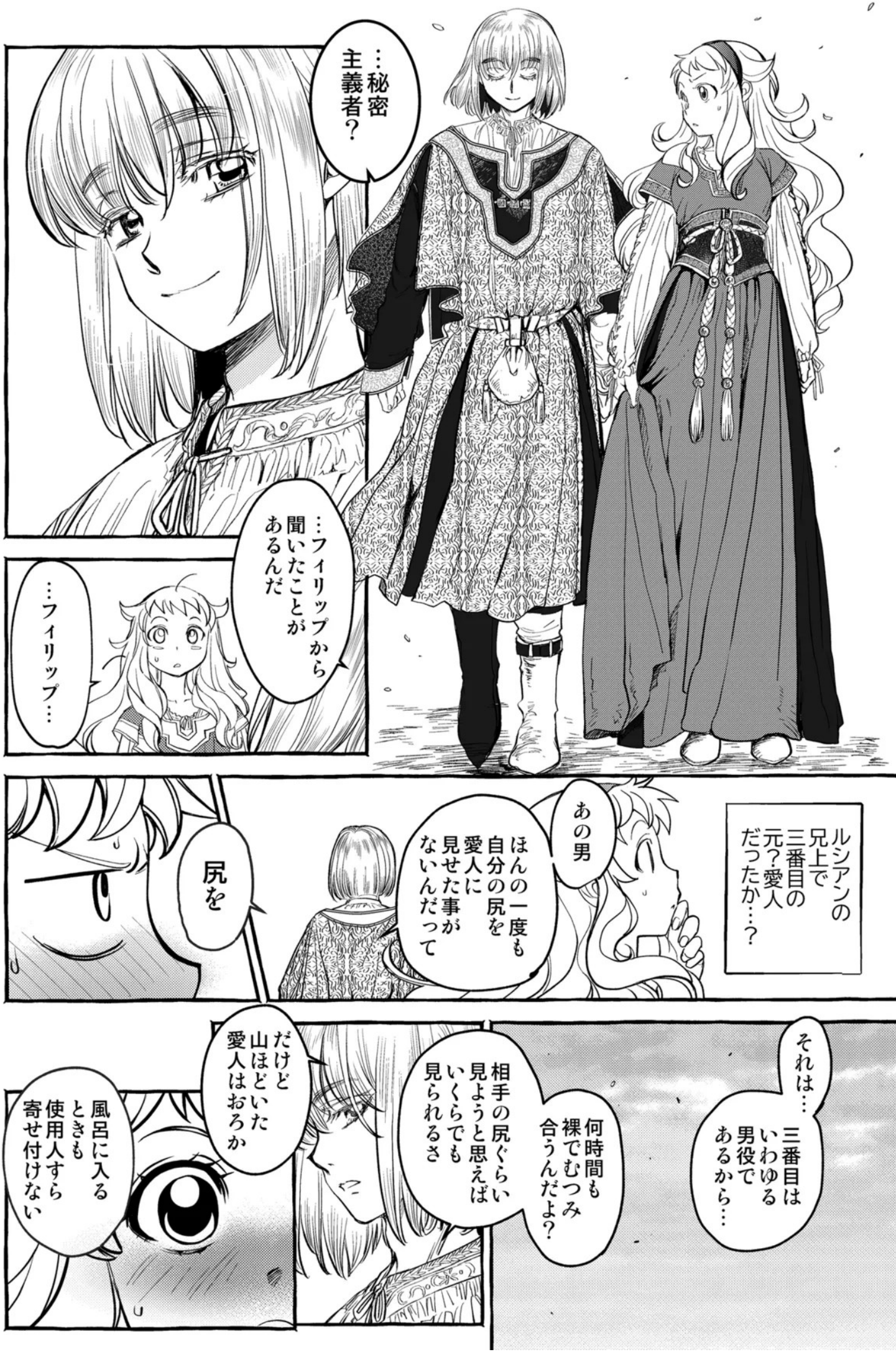

言っておくけどねぇ
僕から誘ったんじゃないよ
女たちが自分から体を差し出したんだ
うるさい馬鹿たれっ！
大いに譲歩して屋敷に女を連れ込むのは許すとしよう！
なぜイヴリンの部屋で！
この部屋しか空いてなかったの
ぐちょり
僕自分の部屋に他人を入れるの嫌なんだよねー
ん～～～
お嬢様落ち着いてお嬢様！
ルシアンが客人としてハーカー家に転がり込んでひとつき――
こんな性悪のノルマンに村中の娘が虜になるとは！
だけど意外だねー
何がだ！


キミは
あのバートラム・
アクィナスの
お気に入り
ぇ
てっきり
村中の男たちと
知り合いだと
思ってたのに
キミ
くらいだよ
僕のベッドに
潜り込もうと
しない女は


なんで
あんな色情狂に
貞節を
誓ってるのサ？
…イヴリンは
三番目に
貞淑なんか
誓ってない


ああ…
そういえば
キミ男嫌い
だったっけ？
とても
そんな反応には
見えなかった
けれど♡


どこ行くの？
また
あいつの家？
やめときなって
あんな薄情者の
秘密主義者！
ベッドで楽しむ
相手としても
マズいのに
結婚なんて！
言ったはずだ
イヴリンは
誰とも
結婚しない！
それにベッドで
楽しんでもいな…


…秘密主義者？
…フィリップから聞いたことがあるんだ
…フィリップ…
ルシアンの兄上で三番目の元？愛人だったか…？
あの男
ほんの一度も自分の尻を愛人に見せた事がないんだって
尻を
それは…三番目はいわゆる男役であるから…
何時間も裸でむつみ合うんだよ？
相手の尻ぐらい見ようと思えばいくらでも見られるさ
だけど山ほどいた愛人はおろか
風呂に入るときも使用人すら寄せ付けない

愛人たちの間にはこんな冗談があったそうだよ

『バートラム・アクィナスの尻には淫魔の尻尾がはえているに違いない』

淫……

あいつも他の男に抱かれているのかも♡

たんに背中の発疹※を隠してるだけかもしれないけど

でなければ

※梅毒の症状の一種

人に見せられないような痕を残す男にサ

誰と寝ようが君の自由だけど

快楽を共有する相手くらいは慎重に選んだ方がいいんじゃない？

男と寝る男に肩入れするだけでも危険なのに

そいつとベッドを共にしていると知られたら——

奴と一緒にキミまで拷問台行きだ

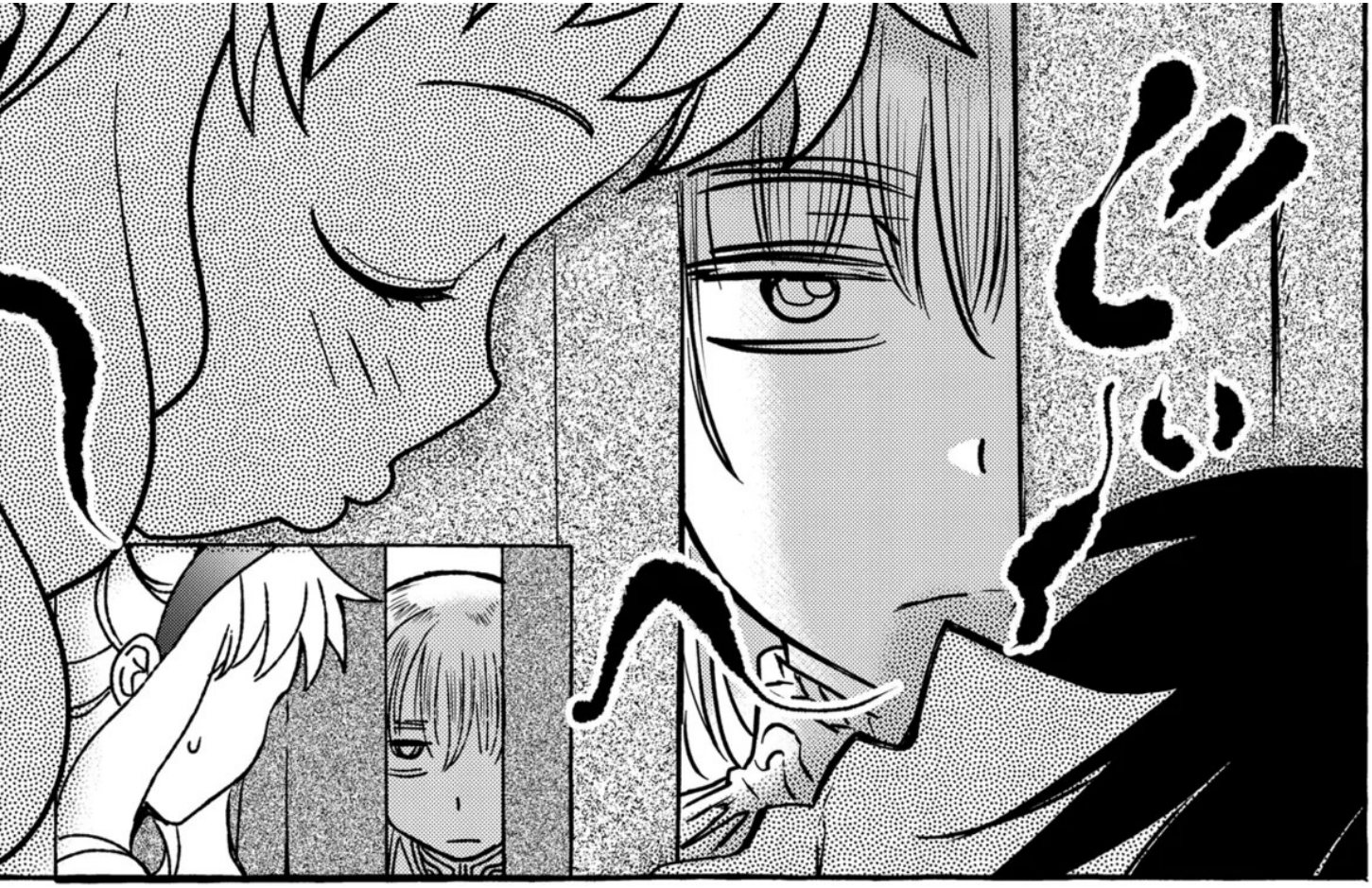
ドガッ


ぜー
ぜー
三番目がイヴリンに隠し事!?
そんな馬鹿な!
だってこいつは親しくもないいたいけな小娘(イヴリン)に


僕女の子より男が好きなんだー
――などという大秘密をぶちまける男だ……
ぞ…
スヤァ…
くんおおおお!!!
スヤァ…
何でこいつは寝顔まで美しいんだ!

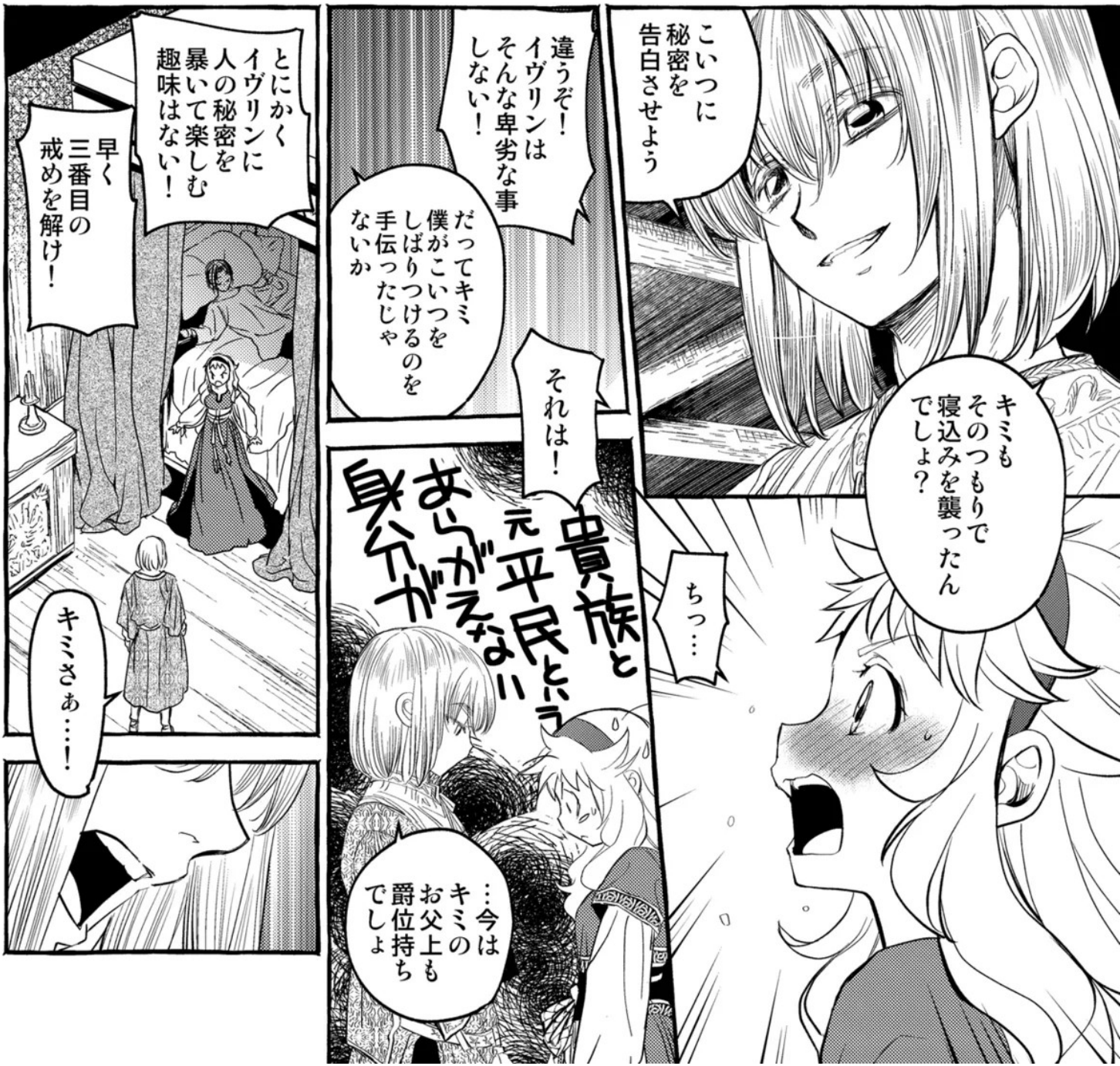

バートラム・アクィナス…
性格と根性がどうしようもなくひん曲がった性悪男…
そして
こんな男が
イヴリンの……


少年の頃の事といえ
自分の命に関わる秘密を幼いイヴリンに教えてくれた
こいつだけは絶対に
疑って悪かったな三番目
起こさないうちに帰ってやる
イヴリンに嘘や偽りを言わないんだ
だからバートラムが
イヴリンに隠し事なんかするわけが…
し…
信じているからな
バートラ…
どき
どき
どき




るるるるるルシアン！なぜここに！
ばたたっ
キミがまだいてくれて助かったよレディ
ちょっとでいいからそいつの腕を押さえてて？
腕…？
どき
これでよし！
よしって…
ぱふっ
ちっ


なんだこれはぁあ！
すかー
バートラム・アクィナスが暴れたら困るでしょ？
この男体格と腕力だけは僕より上だから


こいつに秘密を告白させよう
違うぞ！イヴリンはそんな卑劣な事しない！
だってキミ僕がこいつをしばりつけるのを手伝ったじゃないか
それは！
キミもそのつもりで寝込みを襲ったんでしょ？
ちっ…
貴族と元平民とでは身分がおらがえないー
…今はキミのお父上も爵位持ちでしょ
とにかくイヴリンに人の秘密を暴いて楽しむ趣味はない！
早く三番目の戒めを解け！
キミさぁ…！


もう忘れちゃった？
僕が何のためにキミと結婚したがっているのか
…ッ…
三番目に恥をかかせて奴を修道院にぶち込む…
あーもー
あばれないあばれない
ぶるぶる
ぶるぶる…
正解♡
ご褒美♪
んっ!?
んっ…！
ぶるぶる！
睨まないでよ
ほら口開けてー


ふ…
う…？
ちゅ
んーッ♡
んっ♡
ちゅうう〜
ぢゅぢゅぢゅっ
ちゅぱっ
ちゅぱちゅぱ
ちゅくちゅくちゅぱっ
ぢゅっ
ぢゅくっ
ぢゅくっ
ぢゅっ
ぢゅくっ
ぢゅっ
ぢゅくっ
ぢゅ


ガタ
おっと
ほんと
キミ
面白いよね
いつもは
女の匂いなんか
露ほども
感じさせない
くせに
口づけだけで
足腰立たなく
なるなんて♡


おい！
なにす…
やめッ…
ぱん
ぱん
気様ぁ！
何をすッ…
あー
ダメダメ
騒いだら
バートラム・
アクィナスが
起きちゃうよ♡
ふぇッ?!
あはは！
出た出た
あまったるくて
情けない声！
そ
そんなとこ
されたら
誰だって
声くらい…


そんな事はないよレディ？
キミの場合特別…
ぷるんっ
ね 腰上げて見せてよ もちろん嫌とは言わないよね？
ぴくっ
くにくにっ
すりすりっ
あ…！
あ!!
すりん
すりん
もう乳首が固く膨らんでる♡


こんなところパートラム・アクィナスに見られたくないでしょう？
あぅあ
ぐっ
ぐっ
ひっ…
勿体ないなぁ
キミの体に悦ぶ男はきっと少ないはずなのに
誰とも結婚しないといいながら
こんな男に貞節をささげてさ…
…ン
ビクッ
ビクッ
ぁぁぁ
ぁぁぁ
ぁぁぁ
ぁぁぁ


ぴちゃ
キミだって分かってるでしょう？
ぬぐ…♡
そいつよりも僕の方がずっと女のことをよくわかってる
こころも
からだも
いつ何が欲しいのかもね♡
あは♡すごいあふれてきた
イった？今イったよね？
……ッ


レディ・イヴリン……
ちゅっ
はぁっ
はぁっ
キミが何故バートラム・アクィナスとベッドを共にしてるのか知らないけれど
肉の悦びがほしいだけなら僕にもできる
それに僕はあいつのようにキミに不安な思いは絶対にさせない
はぁ～
だから僕と結婚し――


あれ？
なんで
こんなに胸が…
トクン…
ここが
殺したい男のベッドの上だから？
ちゅくちゅくリミリ
ちゅくちゅく
ぴくっ
んっ…ラっ
ぴくっ
ぴくぴくんっ！
ちゅく…
ちゅくっ
ちゅる…
ぴくっ
ラ！
今この女とキスがしたいのも
いつものように女の瞳に映る僕の顔を見たいからだろう？
はっ…
はあ
ぷっ
ちゅ
濡れた女の目に映る僕が何よりも美しいから
だからもっとようく見なくちゃ……
んっ…
ぴくっ
もにゅ
もにゅ
もにゅ
あ…ん


もっと…
ン…
あ…！
深…く
や…め
そんな声じゃ
そいつは
起きないよ
あは…
あん
前に
忍び込んだ時
そうだったもの
だから——
もっと声を
出しても
いいんだよ
どう？
安心した？
あ…
安心って…
ね…だから
僕のにも
さわって♡
ふたりで
いっしょに
気持ちよく
なろ…？
あ…あ♡


ン…♡
そ…う♡
そこのでっぱり…もっと強くにぎって…♡
は…あ♡
どうし…
て…
修道院域を逃れるためには貴女に私の子を孕ませて結婚するしかないからね
今すぐ私と結婚すれば好きなだけ自由に男に股を開
どうしてイヴリンは…
だ…めだ
だ…め…や…


ぐぐぐっ
ぐぐぐっ
ぱぱぱ
ぱぱぱ
ぱぱぱ


あんな大きさの男の槍を咥え込んでいるからもっと緩いと思ってた♡
馬を乗りまわしてるせいかなぁ
こいつが男の尻よりキミを選んだ理由が分かった気がする♡
とんっ
とちゅっ
とちゅっ
とちゅっ
ずっ
ずっ♥
ぐんっ
ぐんっ
あっ
はっ
はぁ
はぁ
はぁ
はっ
はっ
はっ


三番目…
では…
ない
おとこ…
……の
あれ…が!
あはは♡
いやらしい
声ー♡
そんな大声
出したら
いくら何でも
起きちゃうよ?
今キミに
入ってるのは
誰?
呼ぶなら
僕の名前を
読んでよ
それに
呼ぶなら
僕の名前
でしょう?
イヴリン♡


んんっ！
あうッ
ね…
ほら
もっと
声出して♡
バートラムが
起きっ…
起こしたい
んだけど
なあ…
僕と
しては！
だって
想像して
みてよ
目覚めたら
目と鼻の先で
愛人が他の男と
寝てる……


考えただけで…
キミのなかに出しちゃいそ…お！
こいつにも見せてやろうよイヴリン！


ノルマンの子種でッ…
孕まされるところをさぁ！
じゅぽっ
じゅぽっ
ずぶっ
はぁ
あぅ
あ
ぐぐっ
あ
あ
あ


いつまで寝てるのぉ!!
はぁっ
はぁっ
イヴリンが…!
ああっ♡
で…る
出るぅッ♡
イヴリンが他の男のものになってもいいのか!
おきろぉぉぉ!!


最初から起きてるよ
イヴリン


あ…♡
ンあ…
ン…♡
う…
ン…う
ン…
ちゅ
ちゅ…
ちゅ
ちゅ
ンん…
ちゅ
ちゅ
はー
ふ…♡
はー
…ッ♡
はー


ん…んうっ…
はー…
はー
びくっ
びくびくっ
ア!…
……あ
はぁ
はぁ
はぁ
バートラム…
びくっ
びくびくっ
びくっ
んっ…
アクィナ…
…誰?
僕の顔を忘れたのか!
ごめんねー
私は人の顔を覚えるのが苦手なんだ
特に興味のない人間はね
むにゅ
あっ
よ…よくそんな態度出来るな…
お前いまの状況分かってるのか…?


これを見ろ！
お前の愛人はもうお前ひとりのものじゃな――
あ！
もも…い？
ああああ
ばっ
なんとまあ可愛いらしいことだ
快感に夢中でムスコが抜けていた事に気が付かったのだね
ほニ♥
ほニ
ぱっ
ぱっぱっ
確かに貴方は私よりもご婦人の扱いに慣れているらしい
なにせ私はイヴリンしか女を知らない
だけれども――
ぺろン


殺す！
殺す殺す！
絶対殺す
バートラム・
アクィナス！
修道院に
ぶち込む
だけじゃ
生ぬるい！
お前を殺し
お前の女を
ノルマンの子種で
孕ませてやっ
いっぱい
出したね♡
私の右手は
そんなに
悦かった？
女
あああ
あああ
ぴゅっ


うん…
やっぱり二回目は薄いね
ぴろ
しかも出して間もないとは言えたったあれだけで果てるなんて
びくっ
びくっ
びくっ
女に慣れているといると言ってもしょせんはこの程度だねイヴリ――


…ごめん
貴女も
舐めたかッ
…き…
キス
された！
服を
脱がされた！
…キっ…
体のあちら
こちらに
触られて！
そのうえ！


うっ…
そのうえ――
ぽろっ
ぽたぽた
うぅうッ…
イ…
イヴリン…!?
うわあああああ
どうしたのお腹がすいた？
すぐに何か食べる物を持ってこさせ…
イヴリンは乳飲み子じゃない！
お前のせいだバカートラム！
…ばか…？
どんっ


なぜイヴリンを他の男に良いようにさせた！
イヴリンはお前が自由を得るため必要な大事な手段じゃなかったのか！
なのになんで…
なんですぐにイヴリンを奪い返さなかった！
…彼は
貴女の連れだろう？


自分の淫らな姿を人に見せて悦ぶ者もいる
彼もそういったお楽しみのため貴女が連れてきた愛人か男娼かと
だから私も貴女方のお楽しみに付き合った
……お
…お前には…
イヴリンがそんな女に見えるのか…
さあ？
あいにくと女はイヴリンしか知らないから
イヴリンはこの間まで処女だったんだぞ！
なぜあれが無理強いだと思う
イヴリン私は貴女の父親でも夫でもない
貴女が誰とどう楽しもうが止める権利はないんだ
私にできるのは他の男とベッドを共にするのは控えてほしいと願う事だけ――
ならなんでいつもイヴリンを助ける！


互いを利用するための結婚相手と言っておきながら！
いちばん来て欲しい時にきて！
いちばんしてほしいことをして！
お前が…
いつまでもお前がそんなだからイヴリンは…！
好きです！
イヴリンと聖フォワールのキスをしてください！
……？
イヴリン…？
貴女は…
さっきからいったい何を言…
黙れっ！


今更
何を言おうと
起きた事は
起きた事
のしっ!!
もはやイヴリンは
お前だけの
ものでは
なくなったんだ!
…バートラム・
アクィナス
…いったい
何の不満が?
貴女は
他の男と寝た
くらいで
価値の下がる
女ではない
それに
腹に子種を
出されず済んだ
じゃないか
お前は子種を
外に出せば
子は成せぬと
考えている
ようだが——

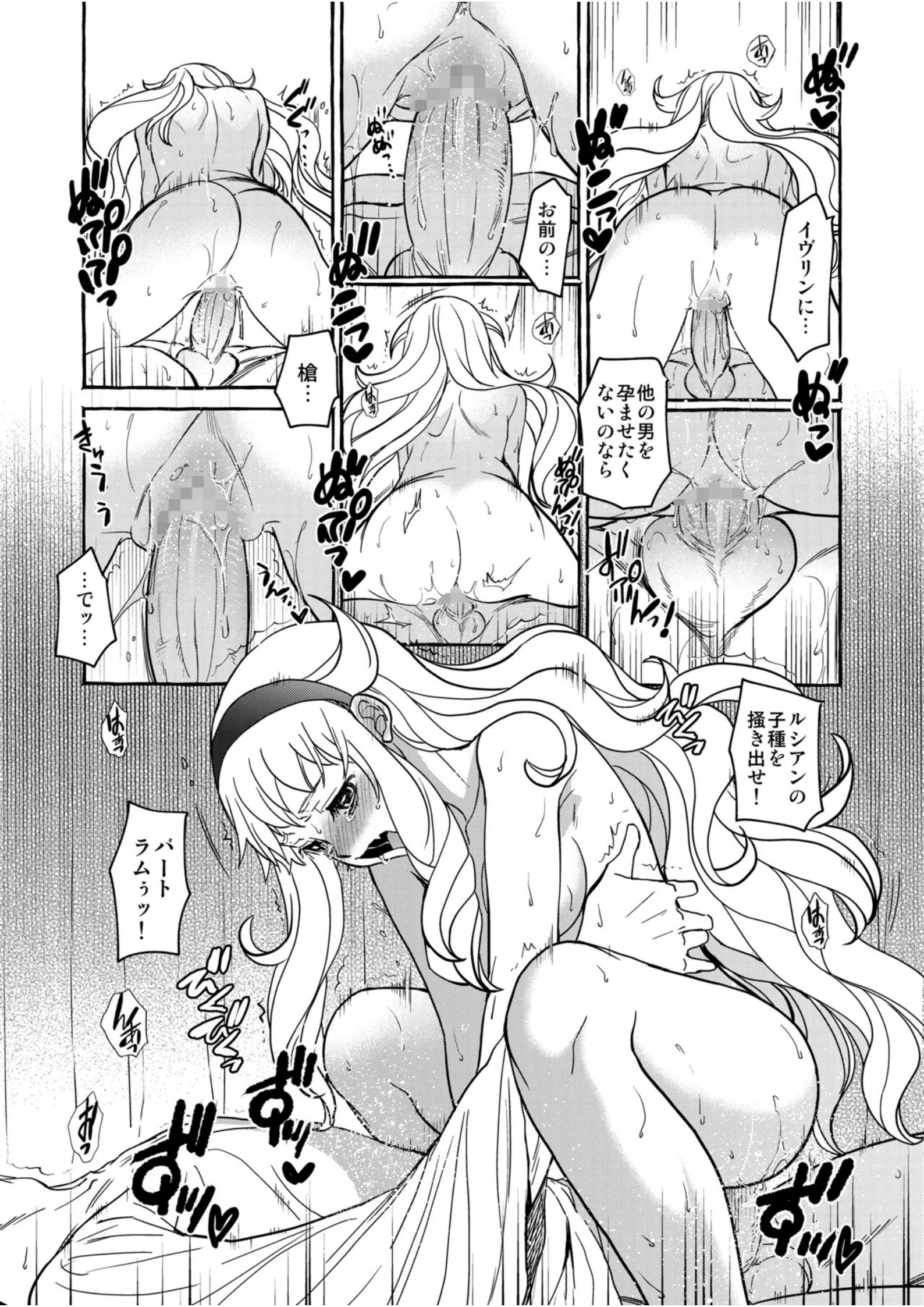

時として
女は
挿入(いれ)ただけで
子を孕むぞ!


……は？
でまかせと思うか？
うちの台所女はそれで孕んで私生児を産んだ
つまり！
今まさにイヴリンは
ルシアンの子を宿したかもしれないという事だ


馬鹿な
言いたい事はそれだけかッ！
ガ
し…
知らなかったんだイヴリン！私は…
もういい
お前がイヴリンをどう思ってるかよく分かった
所詮——
この男にとり
イヴリンはただの道具なんだ
自由を得るため利用するだけ
イ…
ならば
お前に男女の違いというものを教えてやる
感謝するがいいバートラム！
…は…？
考えた事はあるか？
男のコレがなぜ槍のようなかたちをしているか！


子種を
掻き出すためだ！
自分よりも先に女に入った――
他の男の子種を……
…な！


んッ…
イヴ…
リっ…!
うンッ
あっ
はッ…
う…あ!
待っ…
待ちなさ…ッ
うるさいっ!
ぐちゅ!!
ぐちゅ
ぐちゅ
じゅわっ


イヴリンに…
他の男を孕ませたくないのなら
ルシアンの子種を掻き出せ！
お前の…
槍…
…でッ…
バートラムぅッ！


イヴリッ…
んっ
ぐっ
ぐぐっ
話を聞…ッ
ぬっ
ぬっ
ぬっ
ぬっ
だいたいだなあっ！
前から妙に思ってだったんだ！
アッ
なっ…
あ…！
赤子に乳を与える事のない男の胸に
なんれ女みたいに乳首がある！
ぬっ


くにくに
くにくに
イヴ…
リンっ…
ちゅっ
はぁっ
ぬちゅっ
ちゅうっ
あぁ!!
ずずっ
ぺちゃ
ぺちゃ
ぺちゃ
くにっ
ぐりっ
ぐりっ
ぐりっ
ふー!
さぞ屈辱的だろうな!
ぐにぐに
ぐにぐに
ぐにぐに
ん!!
あ…ア!
あ!!
イヴリンの怒りを思い知れ!
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ア…あ!!


おあ…!!
ア…あアア
ぐちゅ
ぐぷっ
ぐぷっ
きゅうっ…
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ビクッ!!
ビクッ
ア…!
はぁッ
ビクッ
ビクンッ
ッ…!
…で…
はー…
は…ッ
はー…


出て…
る…！
ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぐぐぐ
バートラム
はぁ
はぁっ
はぁっ
ビクッ
ビクッ
果てた…のか……？
はぁ
はぁ
……
…か…
勝った！
ぱぁぁ
ぁぁ
とうとうイヴリンはバートラム・アクィナスに勝ったんだ！
これまでこの男の手練手管にいいように弄ばれてきたが――
これからはイヴリンが！
は…
は…
どおだ思い知ったかバートラっ…
…イヴリン…


じょうずだね…
とても気持ちがよかったよ…♡
え…
……
だから――


なッ
なに…
すッ…！
貴女から
あんなに
気持ちの悦い
ことをされて…
たった一度で
私が満足
するとでも？
もう一度
しよう
イヴリン♡
……！
なんッ…
なんで
そうなる!!
あ…あ
悦い…♡
悦いよ
イヴリン…！
あ!
人の話も
きいて
ちゅ
ちゅ
ちゅ


どおして…だ！
さっき…と…！
おなじことをしてるのに…
なんでッ…
あッ…こんな…おく…ま…で…♡
イヴリンがしたときよりも…！


結局またこうなるのか…！
なんど肌を重ねようと
イヴリンばかりが
バートラム…を…ッ
す
…きに…
…なるばかり…で


バートラムはなにも変わらないばかりか
イヴリンをたやすく他の男に差し出した
まるで馬を貸し借りするように……
う…
うぅう…
…どこか痛くした？
どうでも
…もう
…いいから…
つづけろ……
あっ
ぱちゅんっ
ぬちゅっ
ぴちゃぴちゃ
ちゅうう♡
ビクッビクッ
ちゅとっ
ぬちゅぬちゅ


バートラムはイヴリンを
自由を得るための道具としか思っていない
そんなこと分かり切っていたはずだ
今更なにを嘆く
そ
れでも


そんなかたちであってもバートラム…がっ……
イヴリン……を
必要……と


言するのな……ら…
ばッ…
女…は
…ここが…悦いんだった…？
ここが好き？
も…
お…
ねえイヴリン？
ここをこうされるのどう？
好き？

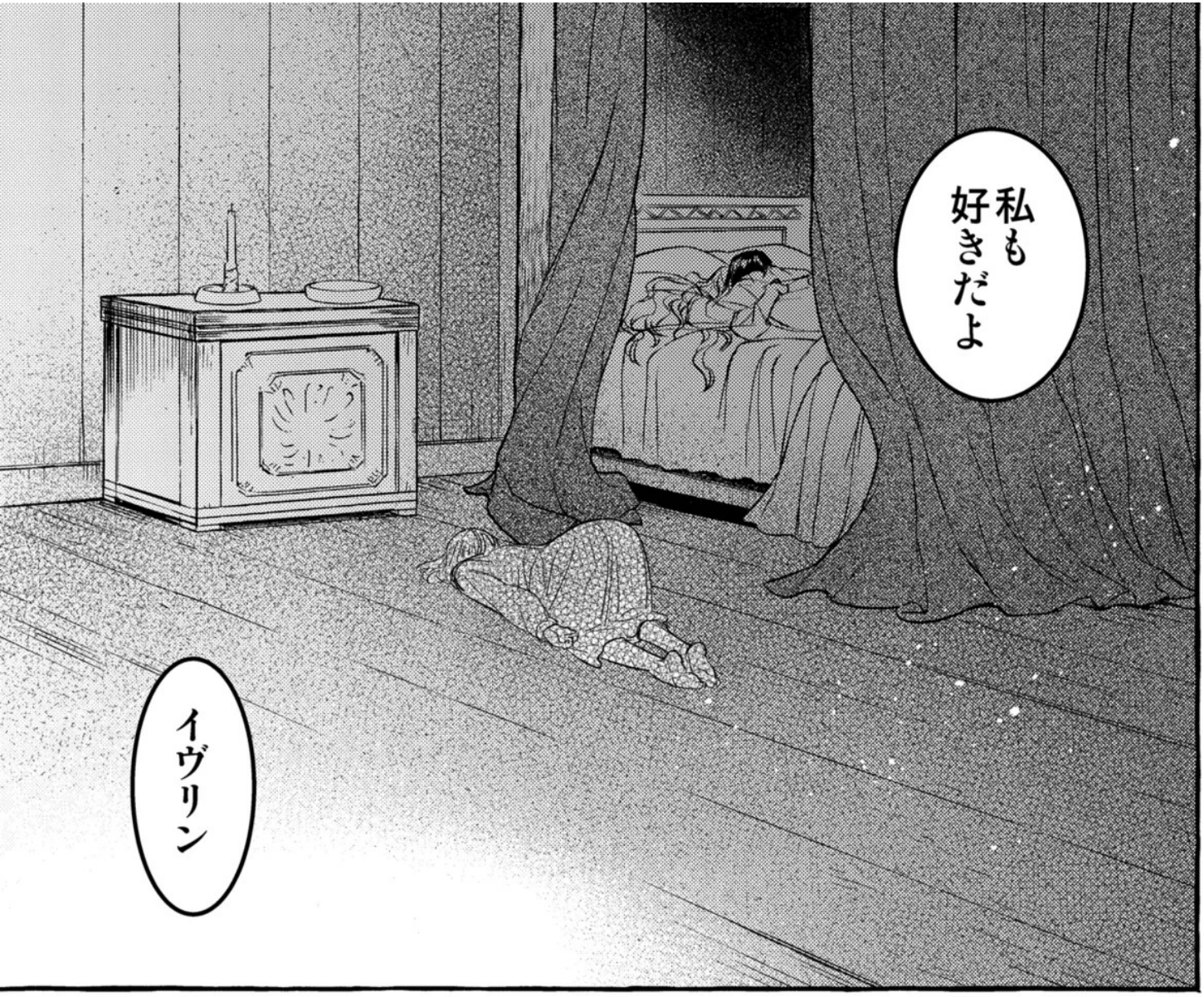

はぁ
す…
き…ッ
はぁ
すき♡
あっ
好きぃ♡
ぐぐぐっ
まって♡
あっ
ぬにっ
ぬっ
ぬにっ
ぬっ
ぬにっ
じゅぽっ
ぐぐぐっ
ドドドッ
好き♡
あ


あっ!
すっ
バートぉ♡
まっ
バートぉ
ぬっ
ぬっ
ぬっ
ぬっ


出る…よイヴリン…
出…ぁアあッ！


あ
レ〜〜〜〜
ビクビク
ビクビク
ビクビク
きゅうう
ビクビク
ビクビク
ビクビク


あぁ♥
ビクッ
ビクビクッ
んっ…うぁ…
ぷぴぷぴ♥
ぴゅっ
はぁ…
はぁ♥
はぁ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
ぴゅっ
ぴゅっ
ぴゅ

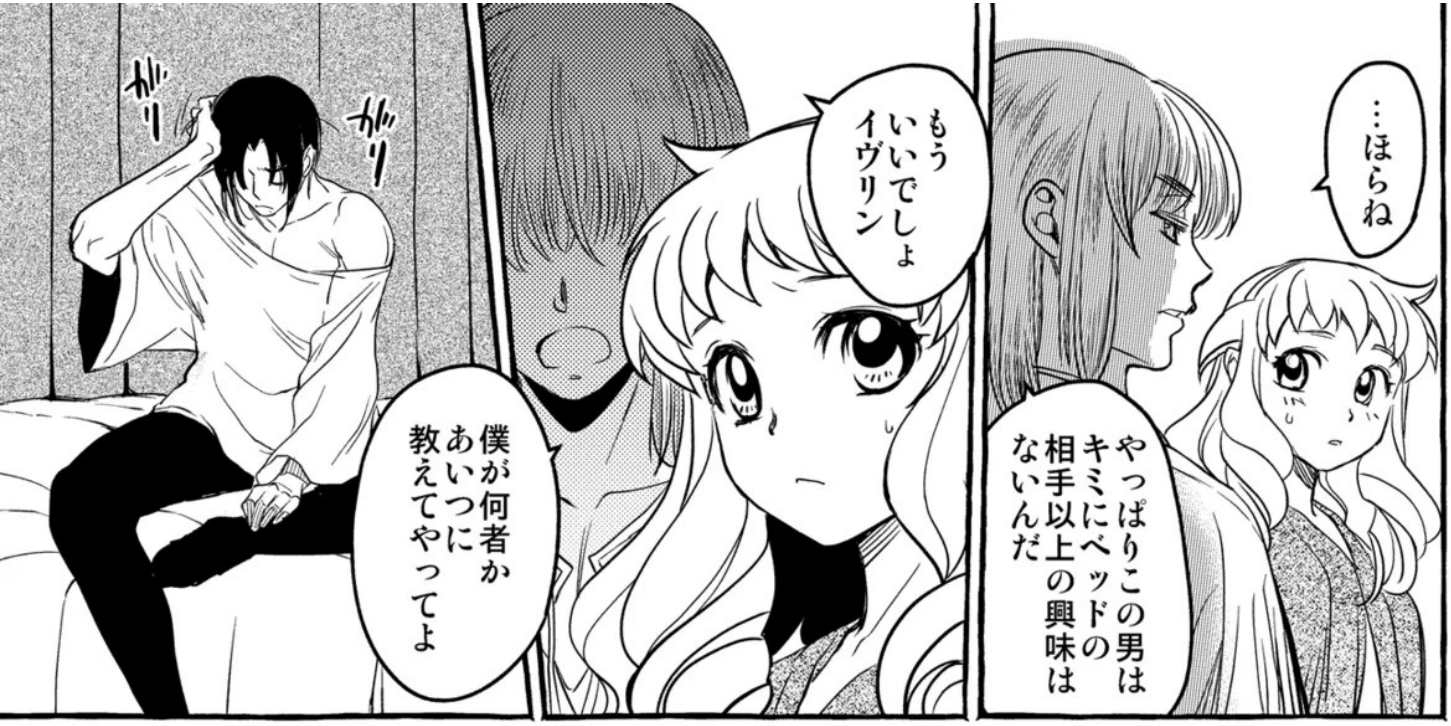

私も
好きだよ
イヴリン


はぁ…
…バ…


…面白くない
冗談だな
三番目
……冗談？
バートラム・アクィナスがイヴリンを好いている訳がない
お前は男が好きなのだからな！
…それを分かって尚貴女は私を好いてくれていたと？
幼い頃からずっと？
すッ…！
ぱっ
何度も言ってくれただろう？
私を好きだと♡
あ…あれは！
イヴリンが気に入っているのはお前のナニだけだ！
ル…


ルシアン！
ようやく
お目覚めだね
小鳩ちゃん
気を失うほど
私の右手は
気持ち
よかった？
うるさい
だまれ！
しかし
レディの前で
その態度は
いただけない
貴方も
貴族相手の
男娼なら
もっと礼儀を…
だんしょ
おおおお？
お前が捨てた
愛人
フィリップ・ド・
ブランシャールの
弟だ！
僕の名は
ルシアン・ド・
ブランシャール！
兄を辱め
僕の自由を奪った
報いを受けて
もらうぞ
バートラム・
アクィナス！
フィリップ…？
イヴリン
なぜ貴女が
フィルの弟と？
そ…
それは…


…なにイヴリン？
キミまだそいつに言ってないの？
うっ…
ガチャ
つまり互いに秘密があったって事？
ルシアン！
？
そんな二人が上手くやっていけるとは思えないねぇ
イヴリンは三番目に隠してた訳じゃないぞ！
何か羽織だら？
じゃあなんでそいつは僕を知らないの？
まさか嫌われたくないから言ってないとか？
た…たまたま話す機会がなかったんだ！
なら今僕が誰かそいつに教えてやってよ！
誰が自分を地獄に墜とすのか知らせてやるんだ！
あふ…
ふたりとも申し訳ないがお喋りなら他の部屋でやってもらえないか
部屋と食べ物を用意させるからゆっくりしていくといい


…ほらね
やっぱりこの男はキミにベッドの相手以上の興味はないんだ
もういいでしょイヴリン
僕が何者かあいつに教えてやってよ
ガリ
ガリ


さ…
三番目
紹介してやる


この者はルシアン・ド・ブランシャール
ノルマンの貴族だ…
ふぁ…
…前にいちど話した事があるが――


こいつが…
イヴリンのもうひとりの求婚者だ


…成程
…今日の貴女は
どこかおかしいと思ってたよイヴリン
男を伴って私の寝室に忍び込み
私を拘束し
ありもしない私の『秘密』を暴こうなどと…
ゴソ…


ノルマンの蛇め
貴様が
不信の種をイヴリンに植え付けたのか
……
いつ
言ったじゃないかついさっき！
私も好きだよイヴリン
なっ
もとをただせばお前のせいだぞ三番目！
私の？
何故？
い…
いつも適当な言葉でイヴリンをたぶらかすだろう！


私はただの
いちども
貴女に対し
嘘偽り隠し事を
した事はないよ
イヴリン


それは貴女が
いちばんよく
ご存じのはず
…あ…
絶対
イヴリンに
嘘や偽りを
言わないんだ


私の妻に
なってほしい
そうでないと
私が修道院に
入れられて
しまう
私と結婚すれば
好きなだけ
他の男に
股を開いていい
…まぁな


それでは
は…
す…
貴女の誤解も
解けた
ところで


ノルマンの豚め
去勢した後
皮を剥いで
犬の餌に
してくれる！
待てえええ!!
待て!!
分かった
信じる
三番目！
お前を信用
しなかった
イヴリンが
悪ッ…
ふみっ
かっ…



その背中…どうしたんだ…？

…三番目…



お…お待ちくださいお客様！

バートラム様はただいまお出かけ中で…

誤魔化しは無用

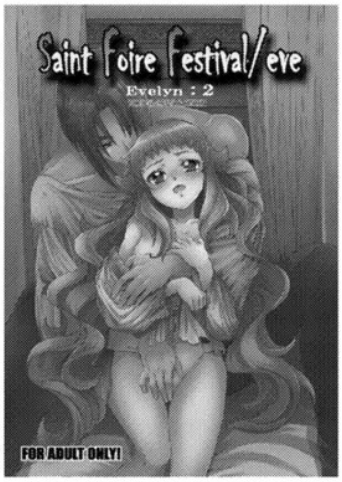
ばたばた




父上からの
託を預かって
来ました
ばぎ
ン
一族の恥
バートラム・
アクィナスを
この場に
引っ立てなさい
事と次第では
あの愚兄の首
わたくしの
結婚祝いとして
持参金と共に
ウェールズ人に
くれて
やりましょう

Saint Foire Festival/eve Evelynシリーズ
好評頒布中！







電子書籍版　取り扱い委託ショップさま
BOOTH…https://kitoen.booth.pm/
FANZA…https://www.dmm.co.jp/dc/doujin/-/list/=/article=maker/id=26646/
DLsite…https://www.dlsite.com/maniax/circle/profile/=/maker_id/RG14710.html
紙の本　取り扱い委託ショップ様
コミックとらのあな…
https://ec.toranoana.jp/tora_r/ec/cot/circle/3UPAd26P8U72dD60d687/all/
メロンブックス…
https://www.melonbooks.co.jp/circle/index.php?circle_id=19745

2020年12月30日
エア・コミックマーケット2
発行/床子屋鬼頭えん＆HEIZO
http://tokoya.txt-nifty.com/
https://twitter.com/kitoen2173
https://kitoen.fanbox.cc/
印刷・コーシン出版　様
成人向け
未成年者の閲覧を禁止します。
いかなる理由であろうと
無断転載・無断掲載・無断複写・アップロードを厳禁します。
違反した場合
損害賠償請求をさせていただきます。

WARNING

The producer of this WORK(Book and Do-Jinshi)
has not permitted following,
・Reproduction of this WORK.
・Making of all of kinds of copies of this WORK.
・Resale of this WORK.
This WORK is done in the scanning and up-road to the
Wired network
(The Wired network includes SNS・P2P and etc.).
he producer of this WORK prohibits sharing the WORK
by the Wired network and the resale.

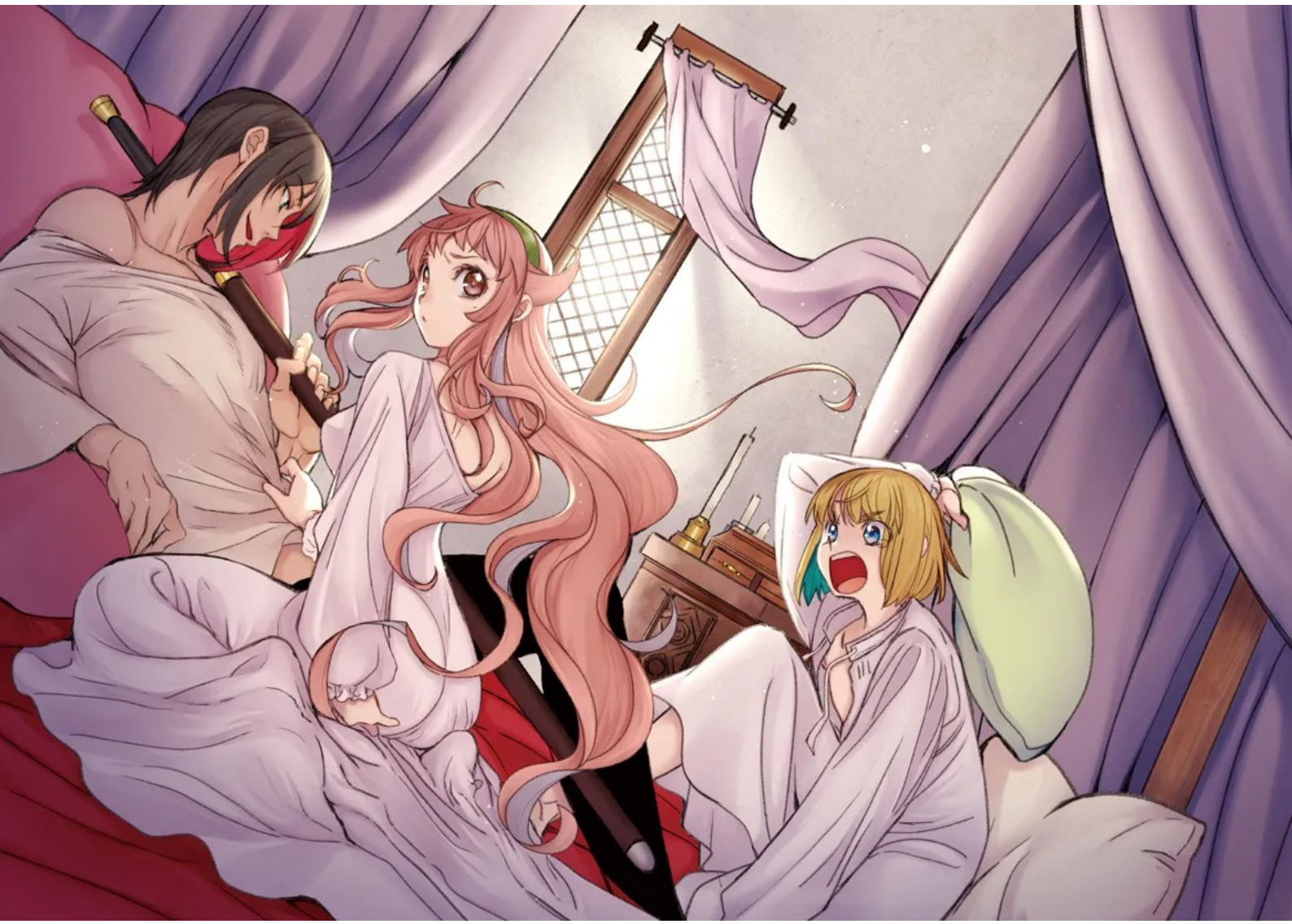
中世女性用ぱんつ



12世紀に女性用ぱんつが実在したかどうかはよく分かっていないようで
（下着は保存が難しく、ほとんど現物が残っていないとか）
資料によっても履いてなかった説とか
三角ショーツのようなパンツがあった説とか（これは男性用との説も）
身分によって履いてたり履いてなかったりしてたんじゃないか説と、多種多様。
中世を舞台にしたｳﾝ十年前の映画の中にはドロワーズのようなものを履いてる事もあったり。
歴史を書き残していたのが主に男性の修道士だったからなあ。
女性の下着には言及しづらかったんだろうなあ。

自分もどれを基準に描くか決められずにいるので
ドロワーズ調だったり、三角だったり、履いてなかったりしてます。

個人的にはドロワーズ調が好きです。
布地多めでせくしーじゃないのが、逆に良い。
（でもドロワーズ調はなかったんじゃないかとも思わんでもない…）




WARNING:
The producer of this WORK(Book and Do-jinshi)
has not permitted following,
・Reproduction of this WORK.
・Making of all of kinds of copies of this WORK.
・Resale of this WORK.
・This WORK is done in the scanning and up-road to the
Wired network.
(The Wired network includes SNS・P2P and etc.).
The producer of this WORK prohibits sharing the WORK
by the Wired network and the resale.
https://twitter.com/kitoen2173
https://kitoen.fanbox.cc/